

講演会へのコメント

勉強になりました。次回の講演会開催をお知らせください。

”親子引き離し”って、こんなに多いとは思わなかった。わたし達夫婦の共通の友人は妻の行動を”お金目的”DVを利用しての連れ去りとまで言っていた。自分に負けない決意ができた。

親子引き離しにDVを利用する事は(単独親権制度ゆえに)起こりうる事実と思っており、青木先生・江川弁護士等の講義は専門的ゆえ分かりやすかった。共同親権制度になれば悪用DV等は減少すると思っております。

診断書について、詳しく説明していただいて良かったです。
DVを申し立てられたら、裁判になるまでの間にできることを考えていただきたい。仮に裁判で認められなくても、申し立てただけで親権も有利にできてしまうのは問題だ。

「虚偽のDV」「虚偽の診断書」の悪用についてでありましたが、この内容を「虚偽の虐待」に変えて、自分なりに考えてみたい。機会があれば虐待等の問題についても取り扱ってほしい。

一人で悩んでいましたが、同じような不当な扱いを受けている方が多くいることで、心強く思いました。いろいろ勉強になりました。

大変参考になりました。山形新聞に記事が載った益子先生にご登壇願えないでしょうか？

私自身もされた虚偽のDV主張だが、私の場合調査官、裁判官共に相手に対し全く問題視していなかった。相手の感情だろうとあっさり返された。「訴訟」とはそのようなことが当然のようなものでなく、裁判官が正さない現状、本来の運営が出来ていない。弁護する弁護士には大きな不信感がある。今日はでっち上げのDVの被害の内容、ひどさに驚く。この様なことが成り立ち、その間で子供はぎせいになっている。大人として行政として、とても恥ずべきことで早期に解決すべき問題である。適切な処置するアメリカとは大きな違いだと思った。

同様の事で苦しんでいる人が多いことにおどろきました。

私の妻はDVとは、今のところ主張してきていないので、直接参考とはなりませんでしたが、もしDVの主張をしてきた場合には参考にさせていただきたいと思います。暴言もDVにあたりと初めて知りました。
それは米国では法律が適正に運用されているということは、駐米経験のある私には少し違和感を感じました。(日本での法律の運用がおかしいことは明らかですが。)

今、子供と引き離され、ネットで知り参加しました。いろいろな事例が分かり、参考になりました。

虚偽の診断書、DV主張への対応について参考になる有益なものでした。活用していきたいと思います。

このような機会でもないと知りえないことなので、大変貴重な時間でした。場を設けて下さったことに感謝いたします。私など色々なことを思い出して、また怒りと悲しみで一杯になってしまうのですが、客観的・理性的に運営されている様子は会の良いアピールにもなりますし、励みになる方も多くいることと思います。私も含めて、今回の会報の神部さんの言葉、ほんとうに力になります。

診断書を悪用され、平成23年12月に突然保護命令を出され、今後の戦い方について、どこをどう明らかにおかしいと証明していけばよいか勉強になりました。

遅参しましたがたいへん参考になりました。

青木先生の「心理学上」の説明が参考になった。特に診断書について、「偽造」の点は「でっち上げDV」について反論のための大いなる補強となった。

弁護士さんの話が具体的でよかったです。

本日はありがとうございました。最後のアピールに関して、2の警察の保護命令については、民事不介入の原則から、実現はかなり厳しいのではないのでしょうか。そもそも民事不介入なのに中途半端に介入している(被害届の受理など)点に問題を感じています。警察のたいほ後、事実確認をするという流れは、日米で運用(?)に違いがあると聞いたことがあります。

大変勉強になりました。

親子ネットの活動へのコメント

どういふ人が”DVされている”と申し出る(でっちあげ)傾向etcを知りたい。

遠方に住んでいます。次は裁判しかないのですが、DV法悪用など詳しい方が、近くで相談できると助かるのですが。

日々の活動、ご苦労様です。ありがとうございます。度々のためになる講演会実施、計画、とてもありがたいです。次回もぜひ参加します。宜しくお願ひ致します。

DV法ができた経緯がマスコミのあおりであれば、活動を活発にして、おかしなDVをとりあげてもらい、法律をかえるまでできればと思います。

いくつか法律の制定をお願いしたいです。例えば

・子どもを連れ去ることができるのは両親が合意した場合に限る

・転校、住民票の移動にも両親の合意が必要

現状では、あまりにも一方的に相手方に進められてしまい、結局”連れ去った者が勝ち”という状態です。私(父親)からもなぜこうなったか子どもたちに説明する機会を設けて欲しかった。あまりにも一方的すぎます。現状は。

協力できる点があれば、資料等を出しても良いです。

DV悪用や親子引き離しは制度的な問題でもあるので、情報を交換・集約し、組織的に対応もできる枠組みできている(つくりかしている)のは有意義なことだとも思います。

今日の話も、また5月のテーマもまさに我が身です。根拠のない引き離しが続き、一番苦しむのは子どもです。辛うじて会えた我が子は調停員の方をいちいつかがって、わずか5才の子が何度も何度も言葉をのみこんでしまう。この状況をおかしいと思えない人がいるのでしょうか！？私は100歩ゆずって非道なことをする義妹にも言い分はあろうと思ってきましたが、子どもらの変化を知るにつけ、こんな状況を助長する全てが許せないでいます。でも何も力になれないでいるのですが。

同じ悩みで苦しんでいる方々から、様々な経験談もお聞きし、今後の戦い方も学びたいです。この日本のおかしな法体系を変えるために、私も力を注ぎ、みなさんと戦いたいと考えています。みなさんの力をあわせて、法を変えていきましょう。

様々な団体があるようですが、どうか統一的な動きになり是非世の中を動かしてください。期待しています。

毎日ネットで新しいニュースがあるかと、ホームページを見えています。心がおれそうになる時もありますが、一人じゃないという思いでがんばっています。

DV法の悪用による被害は、過渡期によるものと思います。この被害で苦しむ家族が増えませんが、貴会の活動を応援いたします。